

わがまちの「ちよつといい話」

NO. 62

「道德のまち笠松」推進会議
(笠松町教育文化課)

九月二十三日(日)

雨の朝であったが、鮎鯨街道ウォークは予定通り実施された。休憩場所となる笠松福祉会館前では雨の中、八時半よりボランティアの方々によりテ

ントやパネルを組み立て、机やいすを配置しおもてなしの準備がされた。パネルや机に布を張り、作品の陳列・展示が終わったのは十一時半であった。

◇ ◇ ◇

今回は、四つの「おもてなし」でお迎える準備がされた。まず、ウォークに先立つ九月二十日にコース

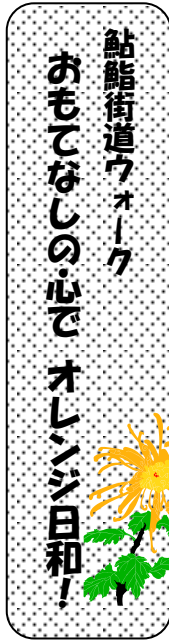
沿いのポイ捨てゴミを拾い、きれいな町でお迎えるおもてなし。当日は、お茶でもおもてなし、個性あふれる作品でおもてなし、わが町の情報提供によるおもて

なしであった。

◇ ◇ ◇

「お茶でおもてなし」では、今年お茶に加え、天領の駅から提供いただいた甘酒を振る舞い喜ばれた。「作品でおもてなし」では、岩井栄・英子さんによるちりめん細工、堀好宏さんの竹細工、澤田良彦さんの流木オブジェ&あかりの作品を出品いただいた。それぞれの作品を通して作者の心にふれ、楽しんでいただけた。「情報でおもてなし」では、

まちの駅と道德のまちについて説明したパネルを掲示し、地図や資料を用意



たパネルを掲示し、地図や資料を用意

◇ ◇ ◇

し、笠松をより深く知っていただいた。会場テントの前には、道德のまちの幟とまちの駅の幟が並び立った。道德のまちづくりでは、オレンジ色のように、心

温かく活力あるまちをめざし、おもてなしを通じて、人とつながる心、自ら取り組む心、他人を思いやる心を育んだ。まちの駅では、パネルを使った全体的な紹介に加え、「竹と野菜の駅」、「流木オブジェの駅」の作品を通して、個々の駅の具体的な紹介ができた。まちの駅とのかかわりを深めてのおもてなしをすることができた。



休憩所に「道德のまち」と「まちの駅」ののぼりを立てて町をアピールする